



さらなる飛躍へ

**2019年3月期
第2四半期決算説明会**

2018年11月14日



大陽日酸
The Gas Professionals

目次

- 2019年3月期 第2四半期業績
 - 第2四半期業績概要
 - セグメント別業績
- 2019年3月期 通期業績予想
 - 通期業績予想
 - セグメント別業績予想
- 事業拡大に向けた取組み
 - 国内メディカル事業：アイ・エム・アイ 買収
 - 米国ガス事業：Weld Specialty 買収
 - 欧州事業 買収

2019年3月期 第2四半期業績



Ortus Stage 2

業績概要

(単位：億円)

	18/3月期 2Q実績(IFRS) 利益率	19/3月期 2Q実績(IFRS) 利益率	前年同期比 増減率	19/3月期 2Q公表値(IFRS) 利益率
売上収益	3,057	3,294	+237 +7.8%	3,280
コア営業利益	293 9.6%	281 8.5%	-12 -4.0%	305 9.3%
非経常損益	2	8	+6	7
営業利益	296 9.7%	289 8.8%	-7 -2.2%	312 9.5%
金融損益	-19	-18	+1	
税引前四半期利益	276	270	-6	
法人所得税	-93	-83	-10	
四半期利益	183	187	+4	190
(四半期利益の帰属)				
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	176 5.8%	176 5.4%	+0 +0.0%	180 5.5%
非支配持分に帰属する四半期利益	6	10	+4	

- 為替換算の影響 (USD→円) : 前期2Qレート 111.29円 当期2Qレート 110.71円
→影響額 売上収益▲10億円、コア営業利益▲1億円

- 2019年3月期 2Q実績にて、欧州事業買収に関連するアドバイザー費用として13億円を計上しております。

セグメント別業績

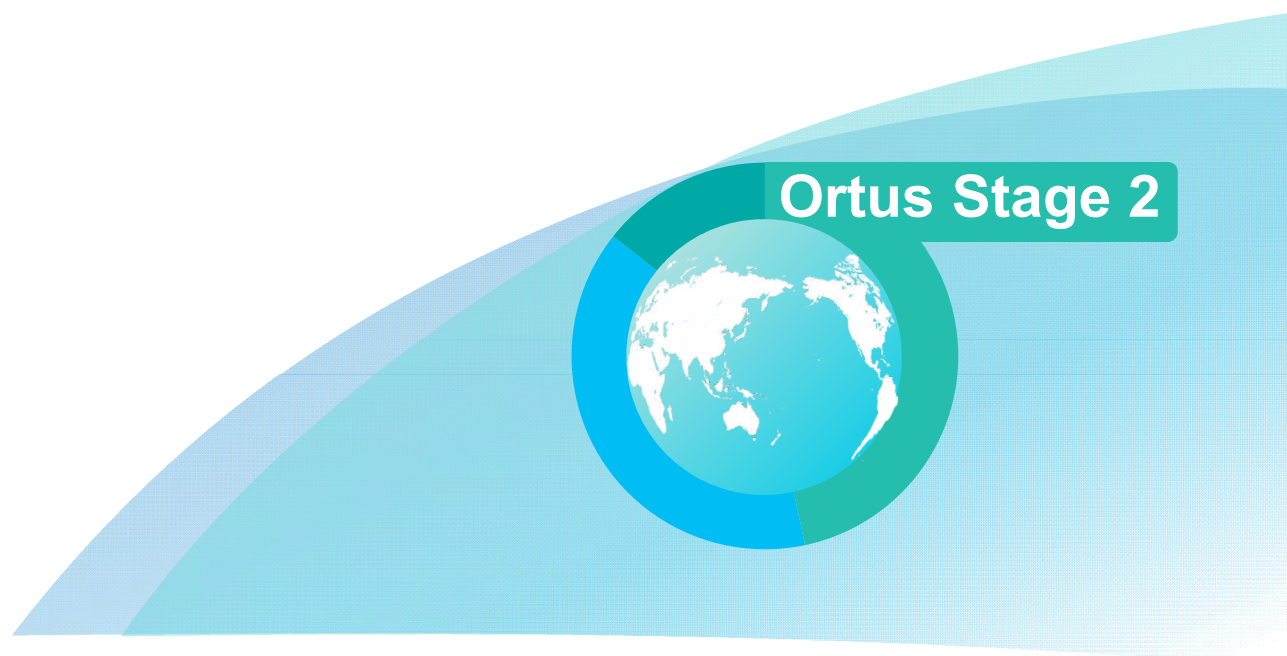
(単位：億円)

		18/3月期 2Q実績 (IFRS)	19/3月期 2Q実績 (IFRS)	前年同期比 増減率	増減要因
国内ガス*	売上収益	1,587	1,719	+132 +8.3%	<ul style="list-style-type: none"> ➢ オンサイト：JFEサンソセンター倉敷工場の収益が貢献 ➢ ハードグッズ：レーザ切断機の販売好調（金属加工向け） ➢ エレクトロニクスガス：一部の製品分野向けの出荷が軟調
	セグメント利益	146	127	-19 -13.6%	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 原油価格上昇によるコスト増加 ➢ 炭酸ガスの原料ガス不足等によるコスト増加 ➢ エレクトロニクスガス：一部の製品分野向けの出荷減による減益
米国ガス	売上収益	843	914	+71 +8.4%	<ul style="list-style-type: none"> ➢ バルク：セバレートガスの出荷増、炭酸ガスは生産能力増強もあり出荷増 ➢ オンサイト：テキサス州で新規オンサイト顧客への供給開始 ➢ ハードグッズ：建設・エネルギー産業向けの販売好調 ➢ 為替換算の影響 ▲4億円
	セグメント利益	64	68	+4 +7.4%	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 産業ガス関連は全般的に好調。 バルク、パッケージ、ハードグッズの増収による増益 ➢ 為替換算の影響 ▲0億円
アジア・オセアニアガス	売上収益	495	523	+28 +5.7%	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 産業ガス関連：Leeden NOXでは安全器具の販売が好調 中国産業ガス、タイ、オーストラリアで増収 ➢ エレクトロニクスガス：台湾での会計処理変更の影響（▲15億円）を除くと増収 ➢ 為替換算の影響 ▲7億円
	セグメント利益	48	63	+15 +31.3%	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 産業ガス関連：Leeden NOXでの増収による増益 中国、タイ、フィリピンでの増収による増益 ➢ エレクトロニクス関連：機器・工事は減益だが、ガスでは増益 ➢ 為替換算の影響 ▲1億円
サーモス*	売上収益	130	135	+5 +4.1%	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 国内：2Qで主力のケータイマグ・スポーツボトルの販売が回復 ➢ 海外：韓国での販売は順調。フィリピン・マレーシア工場からの出荷が増加 ➢ 為替換算の影響 +0億円
	セグメント利益	42	45	+3 +4.9%	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 国内：販売回復により2Qでは増益 ➢ 海外：韓国での増収による増益、生産工場での増益。持分法適用会社の利益が改善 ➢ 為替換算の影響 +0億円
消去又は全社		-9	-23	-14 -	➢ 欧州事業取得関連費用として13億円を計上

* 2019年3月期より「サーモス他事業」セグメントに計上されていたサーモス事業以外の他事業を「国内ガス事業」セグメントへ移管しております。
また、比較基準を揃えるために当該移管分を組み換えて表示しております。
※ セグメント利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益を除いて算出した「コア営業利益」で表示しております。

2019年3月期 通期業績予想

通期業績予想



通期業績予想

(単位：億円)

	18/3月期 通期実績(IFRS) 利益率	19/3月期 通期予想(IFRS) (5/9発表) 利益率	前期比 増減率
売上収益	6,462	6,700	+238 +3.7%
コア営業利益	600 9.3%	640 9.6%	+40 +6.6%
非経常損益	-1	5	+6
営業利益	598 9.3%	645 9.6%	+47 +7.7%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	489 7.6%	400 6.0%	-89 -18.2%
法人所得税増減額 (特殊要因)	-122 (米国法人税減税)	0 (予定されておりません)	+122
親会社の所有者に 帰属する当期利益 (除く法人所得税増減影響)	367 5.7%	400 6.0%	+33 +8.9%

2018年3月期では、米国子会社で繰延税金負債の取崩しが発生し、法人所得税が122億円減少しております。

セグメント別業績予想

(単位：億円)

		18/3月期 通期実績 (IFRS)	19/3月期 通期予想 (IFRS) (5/9発表)	19/3月期 通期予想 (IFRS) (10/31発表)	当初予想・ 更新予想比 増減率
国内ガス*	売上収益	3,450	3,600	3,550	-50 -1.4%
	セグメント利益	313	318	303	-15 -4.7%
米国ガス	売上収益	1,726	1,750	1,810	+60 +3.4%
	セグメント利益	135	140	144	+4 +2.9%
アジア・オセアニアガス	売上収益	1,031	1,070	1,070	+0 +0.0%
	セグメント利益	92	107	121	+14 +13.1%
サーモス*	売上収益	253	280	270	-10 -3.6%
	セグメント利益	77	93	90	-3 -3.2%

【営業利益増減要因（当初予想／更新予想比）】

国内ガス	<ul style="list-style-type: none"> ● 原油価格上昇によりコストが想定以上に増加 ● 炭酸ガスは上期で原料ガス不足によりコスト増加 ● エレクトロニクスガスの減収による減益 ● 医療機器販売会社 アイ・エム・アイ 買収効果
米国ガス	<ul style="list-style-type: none"> ● 米国経済は好調 ● 産業ガス関連での増収による増益 ● 為替レート見直しによる影響
アジア・オセアニアガス	<ul style="list-style-type: none"> ● Leeden NOXでは想定以上に業績が回復 ● 中国産業ガスは市況改善により増益 ● 東アジアでのエレクトロニクスガスは想定どおり好調
サーモス	<ul style="list-style-type: none"> ● 1Qでの国内の減収による減益は残るが、2Q以降は回復基調

* 2019年3月期より「サーモス他事業」セグメントに計上されていたサーモス事業以外の他事業を「国内ガス事業」セグメントへ移管しております。
また、比較基準を揃えるために当該移管分を組み換えて表示しております。
※ セグメント利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益を除いて算出した「コア営業利益」で表示しております。

事業拡大に向けた取組み

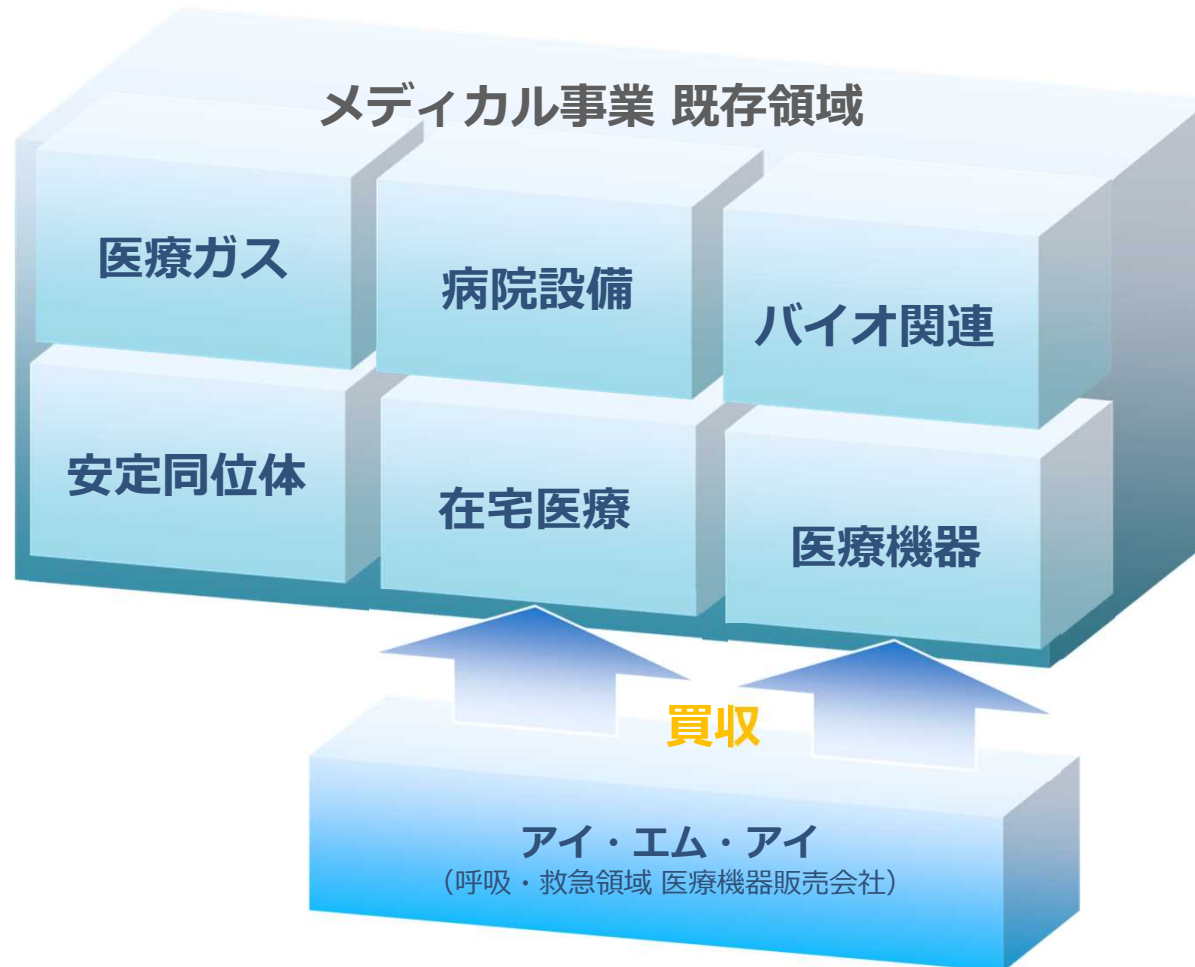
国内メディカル事業：アイ・エム・アイ 買収



Ortus Stage 2

国内メディカル事業の拡大

メディカル事業を当社のコア事業の一つに育てていくために、M&A・提携を通じ、外部リソースを有効活用し、既存領域の拡充と新規領域の獲得を目指す



2018年8月30日リリース

アイ・エム・アイ買収による事業拡大

呼吸・救急領域の医療機器販売会社であるアイ・エム・アイを買収することで、大陽日酸グループとのシナジーを追求し、「医療機器ビジネス」における確固たる地位を獲得する

企業概要

社名

アイ・エム・アイ株式会社

特徴

- 人工呼吸器の最大手
高級機種から一般機種まで幅広い商品ラインナップ
- 救急、手術、集中治療領域の商材を扱っている
- 取扱商材全般でレンタルサービス、メンテナンスサービスを提供しており、そのノウハウが強みである

事業規模

売上高 59.6億円
(2017年12月期実績)

期待されるシナジー効果

1

当社グループでの医療機器事業の確立と拡大

- 当社事業領域に関連した病院向け医療機器事業の拡大
- レンタル、メンテナンスサービス事業の強化

2

大陽日酸、パシフィックメディコとの連携による呼吸領域ビジネスの拡充

- 商品ラインナップの拡充
- 営業、物流拠点の相互利用
- 在宅事業の拡充

「医療機器事業」「在宅医療事業」の強化を通じて、メディカル事業を拡大

事業拡大に向けた取組み

米国ガス事業： Weld Specialty 買収

A graphic element in the bottom right corner featuring a stylized globe of the Earth centered within a circular ring. The ring is divided into three segments of different shades of blue and teal. The text 'Ortus Stage 2' is written in white on a teal rectangular background that overlaps the right side of the ring. The entire graphic is set against a background of overlapping, semi-transparent blue and teal curved shapes that sweep across the bottom of the slide.

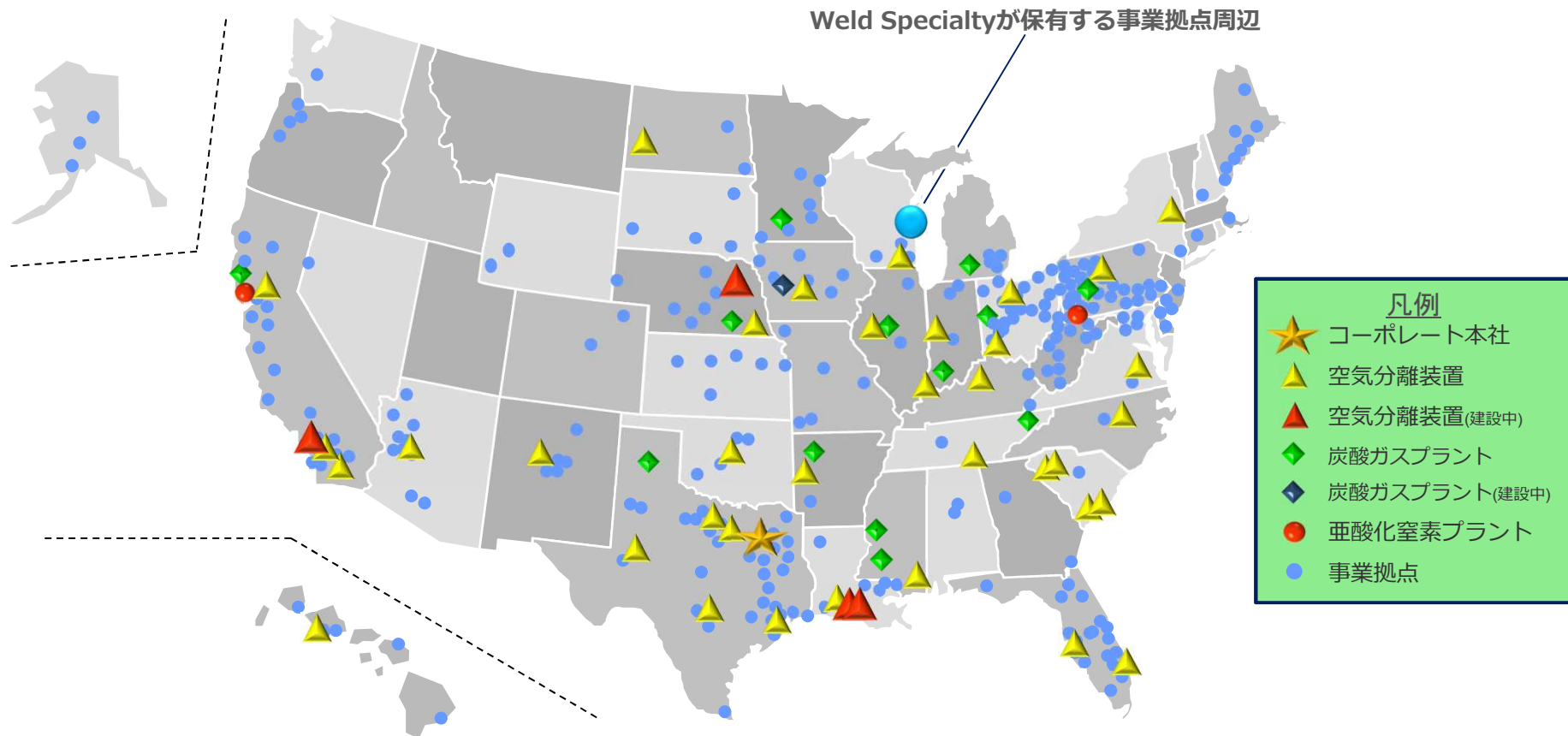
Ortus Stage 2

米国ガス事業の更なる拡充

米国では、M&A・ASU*設備投資を積み重ね、事業領域の拡大、事業密度の向上を進め、Nationwideで生産・販売体制を構築

2018年8月、Wisconsin州でWeld Specialty (ディストリビューター) の事業資産を買収

*ASU : Air Separation Unit (空気分離装置)

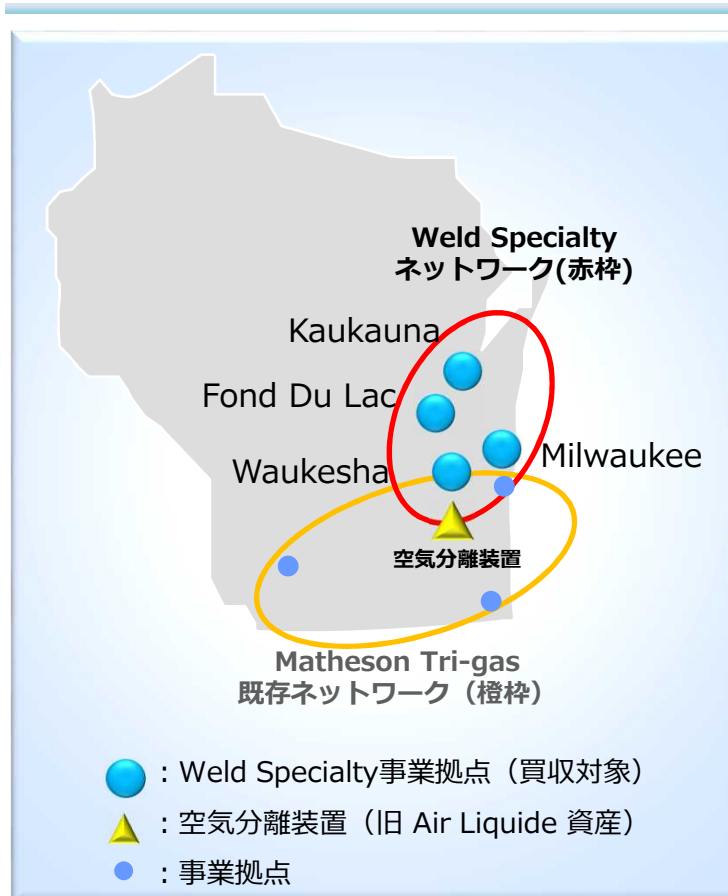


Wisconsin州での販売網拡大を通じて事業密度を高め、基盤事業の強化を図る

Weld Specialty買収による事業密度向上

Weld Specialtyの事業及び事業資産を取得し、販売網を拡大し、既存事業との相乗効果を高める

米国 Wisconsin州 事業展開



買収 背景

- 2016年9月に買収したAir Liquide社の資産に Wisconsin州の空気分離装置が1基含まれており、これを機に同州に本格的に参入した
- 同州は、州別GDPランキングでは中位だが、主要産業である食品加工業、製造業、農業、医療は底堅く成長している

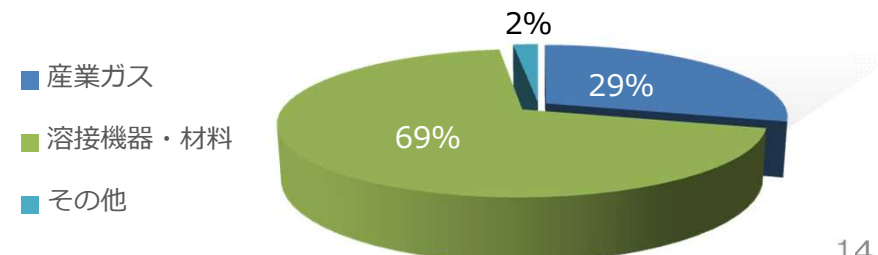
事業 規模

売上高 25.8百万ドル
(2017年12月期実績)

取扱 製品

産業ガス全般 (バルク、パッケージ)
溶接機器・材料 等

売上高構成割合 (2017年12月期)



事業拡大に向けた取組み

欧州事業 買収

— グローバルでの業界再編における大型買収案件



Ortus Stage 2

事業買収の進捗状況

2018年7月5日

- 当社は、Praxairの欧州事業を運営する法人の株式を取得する株式売買契約を締結したことを発表

・売買契約の実行には、現Linde（Linde AG）とPraxairの合併に関して、各国の競争法当局の承認が得られること、当社による買収実行が欧州委員会の承認を得られることが、前提条件となっていた。

2018年8月20日

- 欧州委員会が条件付きで、LindeとPraxairの合併を承認

2018年10月17日

- 欧州委員会が、当社による欧州事業の買収を承認

2018年10月22日

- 米国連邦公正取引委員会（FTC）が条件付き（現Lindeの米国事業を売却）で、LindeとPraxairの合併を承認

欧州事業買収に関する前提条件が全てクリアとなり、
当社は、クロージングに向けて最終段階に入る。

事業買収の目的

中期経営計画「Ortus Stage2」で掲げた最終年度の目標達成に向けて、大きく前進するために、本買収を通じて、未参入地域であった欧州で産業ガスメーカーのポジションを獲得する

背景

- LindeとPraxairの合併

買収意義

- 米国に次ぐ大きな産業ガス市場である欧州で一定の事業規模を獲得
- 取得事業は、取得対象地域*で16%（当社推定）のシェアを持ち、収益性は高い
- 現在のトップマネジメント層を含む有為な人材、事業プラットフォームを取得

*取得対象地域の中で、英国・アイルランド・オランダ・フランスにおいては、炭酸事業のみを対象とする

PMI戦略

- グループ連携（日・米・アジア・欧州）・ガバナンスの強化
- グローバルネットワークを活用した顧客対応機能の強化
- 戦略商材のサプライチェーン最適化

買収事業の概要

米Praxairが欧州12カ国で展開している産業ガス事業（炭酸ガス事業含む）と、ヘリウムに関連する事業を手がける会社の株式が買収対象
買収事業は、30年掛けて育てた米国事業と同等の規模

買収事業の連結経営成績 (2017年12月期実績)

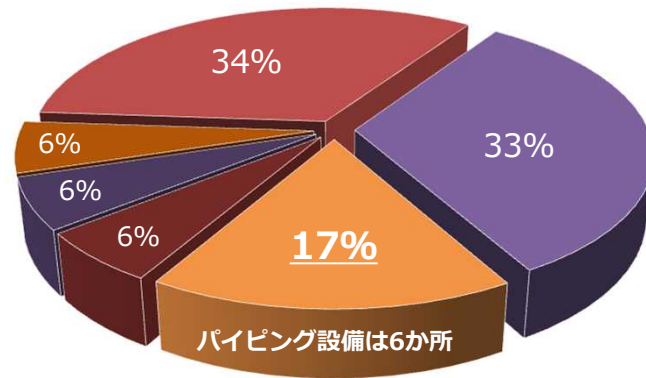
バルク・パイピングが一定規模含まれていることに加え、欧州市場は競争環境も安定的であり、高収益を計上できる事業

●売上収益：1,273百万ユーロ（約1,650億円*）

* 換算レートを1ユーロあたり130円で換算

供給形態別売上高割合 (2017年12月期実績)

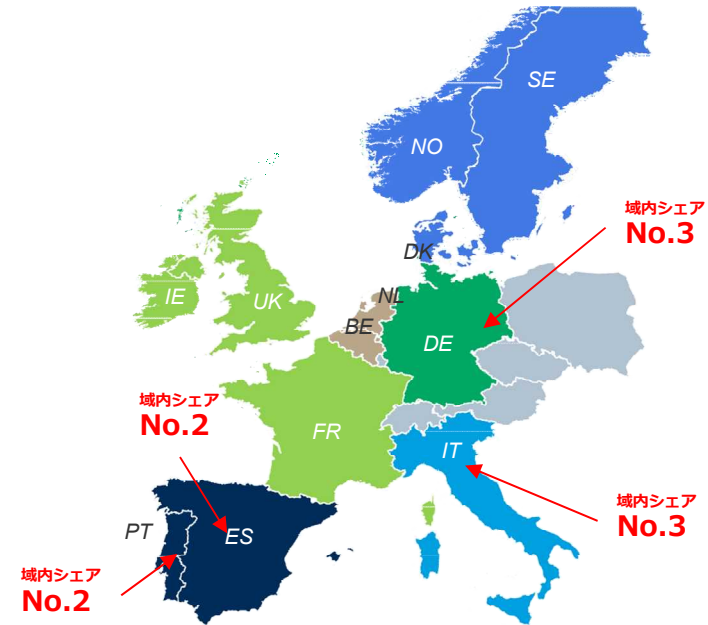
事業構成のバランスよく分散されており、安定的に高収益を得られるオンサイト/パイプラインの割合が17%を占めている



■ バルク ■ パッケージ ■ オンサイト/パイプライン ■ ホームケア ■ メディカルケア ■ その他

取得対象事業範囲

買収事業は取得対象地域で約16%のシェアを持ち、域内各マーケットで、No.2 or No.3のシェアを持つ



<主な資産等の概要>

空気分離装置	シリンダー等充填設備	液化炭酸設備	ドライアイス設備
27	35	12	19

買収資金の調達

資金調達は、まずブリッジローンを実施し、速やかにパーマネント化を図る

ブリッジローン 調達スキーム

金融機関
からの借入

形態

- 金融機関からの短期借入

金額

- 50億ユーロ

パーマネント化 調達スキーム

金融機関
からの借入

普通社債
発行

ハイブリッド
ファイナンス*

~~エクイティ
ファイナンス~~

(実施しません)

形態

- 金融機関からの借入、普通社債の発行、ハイブリッドファイナンスの組み合わせ

金額

- 50億ユーロ（円建・ユーロ建 併用）

留意点

- 株式の希薄化が生じぬように全額負債で調達
- 為替リスクの対策
- 外部格付け「A格」の維持
（現在は、R&I「A」・JCR「A+」である）

ご清聴ありがとうございました。



注意事項

- 本資料は、証券取引上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本説明会および本資料には、将来に関する計画や戦略、業績に関する予想や見通しが記述されております。これらは現時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断・想定したものであり、実際の業績はさまざまなリスクや不確実性（経済動向、市場需要、為替レート、税制や諸制度などがございますが、これらに限りません）を含んでおります。
- このため、現時点での見込みとは異なる可能性がございまして、ことをお含みおきいただき、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますよう、お願い致します。